

第2次亀山市健康まちづくり計画(骨子案)に対する意見への回答

【個別意見】

整理番号	該当ページ	項目	意見	回答
1		全体	健康まちづくりの最大の目的は健康寿命の延伸ではないのかと考える。市の現計画にも、この骨子案にも目的や基本理念として示されていない。健康寿命の延伸を明記すべきである。	健康寿命の延伸については、第3章 計画の基本的な考え方 2 基本理念 の中で国の健康日本21のビジョンとして明記し、基本理念「みんなが生き生き元気に暮らす緑の健都かめやま」にその考えを包含しています。しかしながら「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」は、相互に補完しあう基本目標として位置付けられていることもあり、御指摘を踏まえ、施策体系中に基本目標として新たに加えることを検討します。
2	1	第1章 はじめに 1 計画の概要	様々な計画の羅列が多く、何のためにこの計画を作るのか、というメッセージがわかりにくい。健康とは何か、単に疾病がないことではないので、様々な健康状態にある市民皆さんのためにもあることを示すべきである。	計画策定の趣旨と背景については、計画の策定の根拠となる国・県計画等を記載し整理しているところですが、御指摘の点を踏まえ、計画全体の記述の工夫によりそのメッセージが伝わるよう検討します。
3	2	第1章 はじめに 1 計画の概要 (2) 計画期間	計画期間9年間に對し、中間評価(令和13年度)の実施主体・評価方法・指標が未達の場合の見直しルールが記載されていない。中間評価の時点で施策の入替えや指標の再設定ができることを計画本文に明記されたい。	計画期間の中間年度の時点で、当該計画に関わる国の計画や大綱の改正などを踏まえて、中間年度に計画の柔軟な見直しを実施できる旨の記載を予定しています。
4	7	第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 1 地域特性の概況 (1) 本市の健康・医療等に関する統計的な状況 ⑤平均寿命と健康寿命の状況	平均寿命と健康寿命のグラフは見やすいが、その双方の差が何を示すのかということがわかりにくいので、それぞれの用語の説明を入れるべきである。	資料編の用語集の中で記載を予定しています。
5	8	第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 1 地域特性の概況 (1) 本市の健康・医療等に関する統計的な状況 ⑥国民健康保険医療費の推移	なぜ医療費が増加傾向にあるのかということについての説明が必要である。	御意見を踏まえ、第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 1 地域特性の概況 (1) 本市の健康・医療等に関する統計的な状況 ⑥国民健康保険医療費の推移の中で、補足説明いたします。
6	9	第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 1 地域特性の概況 (1) 本市の健康・医療等に関する統計的な状況 ⑦国民健康保険医療費の入院・入院外の主な医療費の状況	医療費が高い疾患分類についての説明で、上位3疾患あるいは上位5疾患と表記されていますが、全く違う分類なので、誤解のないように面倒でもそれぞれの疾患疾病名を書いた方がわかりやすい。疾患と疾病の使い分けはわかりづらい。	御意見を踏まえ、第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 1 地域特性の概況 (1) 本市の健康・医療等に関する統計的な状況 ⑦国民健康保険医療費の入院・入院外の主な医療費の状況の中で、疾病名を補足いたします。
7	10	第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 1 地域特性の概況 (1) 本市の健康・医療等に関する統計的な状況 ⑧生活習慣病関連疾病の国民健康保険医療費	「生活習慣病」という名称は、病気の原因を個人の責任とする「自己責任論」や偏見(スティグマ)につながるとして、使用を見直そうという声が医療現場や専門家間で高まっている。9年に及ぶ計画なので表現を考えるべきである。	本計画は、健康増進法に基づく市町村計画であり「生活習慣病」という言葉が法律や国の指針で広く用いられていることから、「生活習慣病」という表現のまま作成を進めます。
8	23 41	第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 2 食・健康・医療等に関する市民意識の状況 (1) 市民意識の把握②主なアンケート結果 3 現行計画の成果と課題 (2) 各施策の達成状況と課題	アンケート結果で、「健康都市」という言葉の認知度は34.5%であり、言葉しか知らない、全く知らないが38.2%と認知度が極めて低い。健康都市を推進するに当たり、認知度の向上を指標に追加すべきである。	成果指標を設定する際に「健康都市の認知度」を指標として加える方向で検討しています。

第2次亀山市健康まちづくり計画(骨子案)に対する意見への回答

【個別意見】

整理番号	該当ページ	項目	意見	回答
9	43	第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 3 現行計画の成果と課題 (2) 各施策の達成状況と課題 施策大綱2 健康な生活習慣の定着	料理講習会の開催回数や周知回数は、あくまで市からの働きかけや取組の実施状況を示すものであり、成果指標とするのであれば、その活動によって市民の行動や意識、あるいは対象となる状況がどのように変化したのかを測るべきである。成果指標の在り方について検討する必要がある。	今後、成果指標を設定する際に、その活動によって市民の行動や意識、あるいは対象となる状況がどのように変化したのかを測るような指標の設定を検討します。
10	47	第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 3 現行計画の成果と課題 (2) 各施策の達成状況と課題 施策大綱4 地域医療体制の充実	かめやまホームケアネットとは何かの説明が必要である。	資料編の用語集の中で記載を予定しています。
11	47 48	第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 3 現行計画の成果と課題 (2) 各施策の達成状況と課題 施策大綱4 地域医療体制の充実	地方の医師不足が深刻化しているため、産婦人科医をはじめとした医師や医療従事者の確保の働きかけについて明記する必要がある。	産婦人科をはじめとした医師や医療従事者の確保については、市単独で解決できる問題ではなく広域的な課題であることから、国・県及び関係機関との連携を強化し、広域的な医療提供体制の整備・確保を求めていくことを施策の中で明記する予定です。また、地域医療全体を考える中で、課題について研究する講座を大学に設置するなど、大学等教育機関や地域の医療機関と連携した医師等の人材確保による救急医療や在宅医療等の地域医療提供体制の整備についても、引き続き施策の中で明記する予定です。
12	48 51	第2章 本市の健康・医療等を取り巻く現状と課題 3 現行計画の成果と課題 (2) 各施策の達成状況と課題 施策大綱4 地域医療体制の充実 第3章 計画の基本的な考え方 3 施策の体系 5. 地域医療の充実と医療体制の強化	前計画にあった「市立医療センターを核とした」という文言が体系から消えている。一方で48ページには市立医療センターへの負担集中を避けることが課題として書かれている。市立医療センターの役割と、医師・看護師等の人材確保を施策の方向として体系上に明示されたい。	市立医療センターを核とした地域医療体制については、施策の方向に加える方向で検討します。
13	51	第3章 計画の基本的な考え方 3 施策の体系	骨子案の段階で成果指標・目標値が一件も示されていない。第1次計画では達成度50%未満の指標が全体の20%を占めており、指標の置き方そのものに課題はなかったか疑問を感じる。骨子案の段階でも指標の候補と考え方を併せて示されたい。	第1次亀山市健康まちづくり計画においては、現段階で達成度が80%以上であった指標が5割以上を占める一方で、達成度が50%未満であった指標が2割あった点については、1次計画の評価を踏まえ、指標や目標値の設定を見直し、最終案でお示しさせていただきます。
14	51	第3章 計画の基本的な考え方 3 施策の体系 2. ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの推進	第3次健康日本21には「女性の健康」が位置付けられている。若年女性のやせ、骨粗しょう症、更年期、妊婦の健康など女性特有の課題が明記されている。女性特有の健康課題とプレコンセプションケアも合わせて記述すべきである。プレコンセプションケアは亀山市子ども計画に明記されているが、本計画にも記述が必要である。	健康日本21では、女性の健康が位置付けられ、女性特有の健康課題とあわせて、将来の健康な妊娠や出産につなげるため、早い段階から正しい知識を得て健康的な生活を送れるよう、性別を問わずプレコンセプションケアが重要であることは認識しております。この観点から、施策の方向(1)ライフステージに応じた健康づくりの推進の中で記載を予定しています。
15			ライフコースアプローチの意味を注記で加えるべきである。	資料編の用語集の中で記載を予定しています。
16	51	第3章 計画の基本的な考え方 3 施策の体系 3. 健康を支える社会環境づくりの推進 (1) 地域のつながりを生かした市民主体の健康づくり	健都サポーターの育成人数は目標200人に対し84人(達成度42%)にとどまる。担い手を「増やす」発想だけでなく、企業・事業所、大学、地域団体などとの連携を施策に位置付けられたい。あわせて、指標は延べ参加者数ではなく継続して活動している人数で管理されたい。	地域での健康活動の拡大に向けた人材である健都サポーターについては、単にサポーター数を増やすだけではなく、継続的な育成支援を行っています。また、健康まちづくり推進会議等を活用し、企業や学校、地域団体等と連携することで、より効果的な施策となるよう計画上に位置付ける予定をしています。また、御指摘のけんこうマイレージアプリの指標については、参加延べ人数ではなく、継続的に使用している「アクティブユーザー」の数を指標にすることを予定しています。